

平成 16 年 3 月期 第 1 四半期業績の概況 (連結)

平成 15 年 7 月 22 日

会 社 名 フィールズ株式会社

(コード番号 : 2767 登録銘柄)

(URL <http://www.fields.biz> )

代 表 者 役 職 名 代表取締役社長

氏 名 山本 英俊

問 い 合 わ せ 先 責任者役職名 取締役執行役員管理本部長

氏 名 山中 裕之

(Tel : (03) 3470-0014代)

決算取締役会開催日 平成 15 年 7 月 22 日

中間配当制度の有無 有

単元株制度採用の有無 無

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

① 財務諸表等の作成に際して準拠した基準 : (中間連結財務諸表作成基準)

② 会計処理の方法の最近連結会計年度に

おける認識の方法との相違の有無 : 無

③ 連結及び持分法の連結範囲の異動の状況 : 無

④ 公認会計士又は監査法人による関与の状況 : 無 (記載の数値は未監査であります。)

(注)当連結会計年度は四半期業績開示の初年度であるため、前連結会計年度の数値については記載していません。

2. 平成 16 年 3 月期第 1 四半期業績の概況 (平成 15 年 4 月 1 日～平成 15 年 6 月 30 日)

(1) 経営成績 (連結) の進捗状況

(百万円未満は切り捨てて表示しております)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 ( 四 半 期 ) 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円
16 年 3 月期第 1 四半期	22,782	4,202	4,392	2,367
(参考)15 年 3 月期	61,888	6,781	7,022	3,524

	1 株 当 たり 当 期 純 利 益	潜 在 株 式 調 整 後 1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	円 銭	円 銭
16 年 3 月期第 1 四半期	70,900 55	— —
(参考)15 年 3 月期	117,233 63	— —

【経営成績 (連結) の進捗状況に関する定性情報等】

当第 1 四半期は、当社の強みであるコンサルティング型営業を推進し、きめ細やかな営業展開の実践を図りました。

遊技機の販売におきましては、パチスロ機は株式会社ロデオの製品を中心に幅広く販売し順調に推移いたしました。また、パチンコ機販売におきましても、株式会社大一商会、株式会社三洋物産の製品を中心に順調に数字を伸ばすことができました。

以上の結果、売上高は 22,782 百万円、営業利益は 4,202 百万円、経常利益 4,392 百万円、第 1 四半期純利益は 2,367 百万円となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年3月期第1四半期	25,698	10,748	41.8	330,398 40
(参考)15年3月期	17,090	8,752	51.2	268,600 55

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年3月期第1四半期	△1,459	△ 320	△ 292	3,666
(参考)15年3月期	3,316	△2,253	△2,454	5,739

【財政状態（連結）の変動状況に関する定性情報】

当第1四半期は現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ2,073百万円減少しております。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の減少は1,459百万円となりました。これは主に売上債権の増加10,556百万円と法人税等の支払2,560百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は320百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出102百万円と投資有価証券の取得による支出164百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は292百万円となりました。これは主に配当金の支払いによるものであります。

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	36,575	5,078	2,503
通期	73,815	10,551	5,201

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期） 32,209円07銭

(注) 1株当たり予想当期純利益は、平成15年11月20日付株式分割後の発行済株式数(161,500株)で算出しております。

### 【業績予想に関する定性的情報等】

当業界におきましては、液晶画面の大型化・高品位化など、パチンコ機、パチスロ機の表示装置のハード部分が著しい進化を遂げていくなか、ファンの価値観の多様化、ニーズの分散化はより一層すすみ、遊技機としての新しい楽しさ、すなわちエンタテインメント性というソフト部分の進化がますます求められております。

当社におきましては、求められるキャラクターやコンテンツの製作と開発を、グループの総力を結集して、より強力で推進してまいります。

以上の実現のため、今後以下の具体的施策を実践してまいります。

#### 1. マネジメント契約の拡大による優良コンテンツの獲得

当社のグループ子会社であるプロフェッショナル・マネージメント㈱、トータル・ワークアウト㈱、ホワイトトラッシュチャームズジャパン㈱等の緊密なコラボレーションにより、芸能、スポーツ、格闘技界をはじめとするトップアーティスト、トップアスリートたちとのマネジメント契約の実現を図ってまいります。これにより、時代のニーズにマッチした優良なコンテンツに成り得る資産を蓄積してまいります。また、独自に、次代を担うタレント、アーティストの養成を行うCASTの企画運営に関しても力を注いでまいります。

#### 2. マーチャンダイジング力の強化

本年1月に子会社として㈱デジタルロードを設立、社長にゲーム業界に多大な業績を残す川口氏を迎え、さらに当社の社外取締役であり、クリエイティブ界に大きな影響力をもつ糸井氏が経営する東京糸井重里事務所には国内外を問わず、優れた才能を集結してまいります。これらの陣容により、パチンコ・パチスロの映像コンテンツはもとより、家庭用ゲーム、映画、TV、携帯、DVD、CD、ファッション、玩具、グッズ等のあらゆるコンテンツの企画開発を手がけてまいります。

#### 3. 人材育成の強化

現在の営業社員は300名を擁しておりますが、うち60名は今春採用の新人であります。この60名はいわゆる「松坂世代」と評され厳しい就職戦線を乗り切った優秀な人材であります。さらに入社時教育およびフォローアップ研修を重ね、その能力に磨きをかけております。これら営業社員に加え、即戦力となる中途採用を強化することにより、第2四半期以降における業績の向上に大きく寄与してまいります。

これらに加え、従来からの執行役員制による経営管理体制の強化、人事および情報システムの改革等を併せて進めることにより、21世紀にふさわしい企業へとさらなる転換を図ってまいります。

以 上